

令和六年

七宝会 第四回 公演

第四回

忘れ形見までも
なつかしや恋しや

能 「花 筐」 山内 崇生

狂言 「昆布売」 善竹 隆平

能 「阿 漕」 辰巳 孝弥

阿漕ヶ浦の罪科を
助け給へや旅人よ

◆ 9月28日(土) 17時 開演

◆ 枚方市総合文化芸術センター本館
関西医大小ホール



同じ古舞にして、
同じアヴァンギャルドな芸能
能楽をみなぎりに

七宝会

令和六年 七宝会 第四回公演



【番組】

能 「花 筐」

照日の前山内 崇生
 侍 女辰巳大二郎 大鼓 守家 由訓
 継体天皇 内藤 成鵬 小鼓 上田 敦史
 供奉官人 福王 知登
 喜多 雅人
 與 昇 広谷 和夫
 與 昇 中村 宜成
 貞光 卓生

狂言 「昆布売」

大 名 善竹 隆平 昆布売 善竹 隆司 後見 上吉川 徹
 老翁 辰巳 孝弥 大鼓 上野 義雄 太鼓 中田 弘美
 阿漕の靈
 旅 僧 喜多 雅人 小鼓 高橋奈王子 笛 赤井 啓三
 里 人 小西 玲央

能 「阿 漕」

◆日時 令和六年九月二十八日(土) 十七時開演
 ◆会場 枚方市総合文化芸術センター本館 関西西医大小ホール
 ◆料金 指定席 4,500円 自由席 3,500円 学生 2,000円

◆スマホde解説

「衆我財団」様の支援事業として、お客様ご自身のスマホをお使いいただき、ご自身のイヤホンで解説をお聴きいただけるサービス提供が始まりました。ご希望の方はスマホとイヤホンをご持参のうえ、ご体験くださいませ。

【解説】

◇ 能 「花 筐」 はながたみ

越前国で日々を過ごしていた大迹部(おおあとべ)皇子は、ある日、皇位を継承することとなった。恋人の照日の前に手紙と形見の花籠とを遺し、大和へ行ってしまった皇子。手紙を読んだ照日の前は恋しさの余り心乱れ、皇子を慕って放浪の旅に出てゆく。

大和に着いた照日の前は、今や天皇となった皇子の行列に行き逢う。しかし官人はこの狂女を追い払おうと、彼女が手にしていた形見の花籠を打ち落とす。悲嘆のあまり心乱れ、皇子の面影を憶んで涙する彼女。やがて、御前で舞う機会を得た彼女は、自らの叶わぬ思いを託しつつ、古代中国でおこった帝と夫人との悲恋の物語を謡い舞う。彼女の想いの深さを確信した天皇は、再び宮仕えに召そうと告げる。こうして、照日の前は晴れて天皇と再会を果たすのだった。

◇ 狂言 「昆布売」 こぶりり

お供がない武士の何某は、外出の際自ら太刀を持っていた。そこで通りかかった昆布売りを脅し太刀を持たせる事にした。太刀と昆布と一緒に持ちにくいので何某は昆布を全て買う。しかし昆布売りは隙を見て持たされた太刀で何某を脅し、

◇ 能 「阿 漕」 あこぎ

旅僧が阿漕ヶ浦にて老人と出会う。老人は昔、阿漕という漁師が禁漁の浦で密漁したため捕らえられ縛られ海底に沈められたため、阿漕ヶ浦が浦と呼ばれると語る。秘事を重ねる罪もみな阿漕に負わされるのは悲しい事だといひ、恐ろしい叫びを残して消えてしまう。

僧が回向していると、阿漕の亡霊が海中から現れ魚を捕る様子、地獄で苦しむ様を見せる。そして助け給へや旅人という声を残して海底に沈んでいってしまう。

◆令和六年七宝会年間会員について

- 年会費 15,000円
- 年間5公演のうち、普及公演を除く4公演の指定席代金18,000円を15,000円でご提供いたします。
- 発売・予約開始は、会員は60日前(一般は50日前より)。
- 年度途中からでも会員に申し込みいただけます。

宝生流 七宝会

〒572-0009

大阪府寝屋川市末広町1-8 辰巳方

TEL 072-8331-3206

FAX 072-8322-5115

会場のご案内



枚方市総合文化芸術センター 本館
 関西西医大小ホール
 大阪府枚方市末広町2-1-60

京阪電車 枚方駅 駅から徒歩約5分